粕谷和夫の観察日記。柿残る　俺のためかと　目白来る　（２０２４．１１．９塩山　枯露柿の里にて　粕谷和夫）
目白が柿を口に含んでいるのが分かります。柿も目白の同じような形に見えるのが面白いですね。２０２４年も残りわずか。この一年皆様にとってどんな年だったことでしょうか。２０２５年良いお年をお迎えください。

紅葉台 新聞

第１６２号
２０２４年
１２月日２７日
発行人：関谷　孝

今年の紅葉台文化祭　写真で紹介！

今年は１１月４日（日）に開催されました。昨年に続き中央大学のご縁で真打の「桂やまと」さんをお迎えしての噺は「正直者」でした。約１時間でしたが、こんなにも近くで話を聞くことは滅多にないこと。迫力のある話芸。表情も豊かで思わず話に引き込まれました！
（写真左　桂やまと・右　谷口会長）

展示作品一部ですが手作り作品はどれも力作揃い。

ツバメ文庫・生活クラブ・野菜や花の販売・焼き鳥や飲み物お菓子等食べながら歓談できる場所もありました。93歳の方のマフラー。ご自由にお持ちくださいとのこと。

粕谷和夫の観察日記

山梨県塩山の恵林寺付近の枯露柿（ころかき）の里で今月末に「鳥見歩き」を計画していて、その下見をしてきました。枯露柿に使う柿は甲州百目（尾は朗報です。こうしゅうひゃくめ）という大きな果実の品種、歩いていると道端に落ちた柿が並べてありました。写真の下は軒先につるされた枯露柿作りの光景です。

京都の棚田を歩いてきました。京都駅で山陰線に乗り換えて八木駅下車。そこからバスで50分。「京都にもこんな棚田があるのか」というようなところです。右京区嵯峨越畑という場所で棚田と茅葺屋根が残る自然豊かな地域でした。棚田はススキの穂、柿の紅葉で彩られ、マヒワの群れが飛んでいました。

八王子の古刹・心源院の裏山に薬草として知られる野草のセンブリの株があるというので立冬の11月7日に行ってみました。千回煎じても苦みを感じるところから名づけられたと言われる薬草で健胃、整腸、養毛にも効果があるとのこと。養毛にも効くとは朗報です。

シニア散歩　八王子博物館

八王子市の歴史や産業などブースごとに展示していました。（八王子駅南口 Jcom ビル４階）

東浅川寺子屋：課外活動で JAXA 相模原へ～！

にほんごの会寺子屋だより / 作成者: Kumiko さん

今年度の課外活動は JAXA 相模原！2024 年 11 月 3 日（日）に行ってきました～。高尾駅、八王子駅で待ち合わせして合流。横浜線でいざ相模原へ！現地では、2 チームに分かれ、JAXA 相模原と市立博物館を交互に観ました。JAXA 相模原では、屋外にある M-V ロケットの実機模型に圧倒されながら建物に入り、日本初のロケットや巨大気球による実験など、日本における宇宙研究の歴史をみました。

職員による説明では、人工衛星や探査機、ロケットの模型、解説パネルなど、わかりやすく教えていただきました。とくに『かぐや 2』がタッチダウンした“りゅうぐう”に関する展示は秀逸で、展示を見たり話を聞いたりしながら、宇宙へ思いをはせました。『かぐや 2』のタッチダウンをさせるシミュレーションゲームもおもしろかったです！市立博物館では、日本人の文化の歴史を見て感じ、こちらも興味深い内容でした。たまたまやっていた相模原の給食の歴史展もおもしろかったです！プラネタリウムも見ることができました。お昼ごはんは市立博物館の休憩所で、1 班、2 班交換でお弁当タイム。職員、学習者それぞれたくさん話して交流して、とても充実した秋の一日を過ごすことができました。今回は全員の集合写真が撮れずにそれだけが残念でした～！またみんなでどこか行きましょうね～！

注：「にほん語の会」は、外国から日本に来た技能実習生に日本語を教えているボランティア団体です。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。

粕谷和夫の観察日記。柿残る　俺のためかと　目白来る　（２０２４．１１．９塩山　枯露柿の里にて　粕谷和夫）
目白が柿を口に含んでいるのが分かります。柿も目白の同じような形に見えるのが面白いですね。２０２４年も残りわずか。この一年皆様にとってどんな年だったことでしょうか。２０２５年良いお年をお迎えください。

今年９月25日粕谷会長から「今年はベートーベンの『交響曲第9番』がウイーンで初演されてから200年、日本人が同作を初めて演奏して100年目です。私はこの第九演奏会に出演するため毎週1回の練習に新宿まで通っています。本番は12月21日上野の東京文化会館です。」とのメールがありました。

当日見に行かれた阿部ひろ」みさんからとても感動したとの連絡があり、感想をいただきましたのでお知らせいたします。粕谷会長は長年地域での合唱団でも活躍しています。今年はドイツと日本で佳節になることもあり、いつも以上に意欲満々でした。

後日 「12月23日（月）12時20分からのNHK総合「みみより解説」でこの時の様子が放映されました。年末の「第九と日本社会のかかわり」についての解説ということで私が出演した演奏会の練習風景と本番の一部が含まれるとのことです。」とのお知らせがあり、早速目を皿のようにしてみました。93歳のご婦人で最初の頃からずっと参加している方のインタビューがあり、会長さんの練習風景が写っていました。出演者の皆さんはいつもより張り切って練習していました。

当日の様子は阿部さんが感動溢れる感想文を寄せてくださり、会場での熱気を感じさせます。
阿部さんはご自身も歌を歌いますのできっと人一倍感性が豊かだったのではと思います。

「12月21日土曜日、上野の東京文化会館の大ホールには、ほぼ満席の聴衆で埋め尽くされ、私もこの演奏会をずっと前から心待ちにしておりました。
そのわけは、このたびの東京労音「第九」70周年記念演奏会に紅葉台新聞『粕谷和夫の観察日記』を連載されている粕谷和夫氏がこの混声合唱団のメンバーとし参加されるためでした。

開演のトップバッターは大野綾音さんのフルートと東京21世紀管弦楽団(指揮浮ヶ谷孝夫氏)の協奏曲。2長調作品283第1楽章、「ねがいごと」

繊細なフルートの音色と穏やかな旋律に会場の空気は一変しました！
休憩の後、いよいよ「第九」の1、2、3楽章の演奏。
渾身の力を込めた。浮ヶ谷氏の指揮に楽団員もそれに応えるように素晴らしい演奏でした。

人類の平和と自由な世界への限りない希求・・・

時折入るティンパニーの響き、そしてコントラバスの地響きのようなうねり・・・

そしていよいよ第四楽章。4名のソリスト達の高らかな歓喜の歌とともに300名近い混声合唱団の歌声が加わり、大ホールは喜びの賛美に包まれていました。

私の席から粕谷さんの姿がはっきり見えました。舞台上の粕谷さんは終始一貫して背筋を伸ばして正面、遠くの3階席あたりへ声を届けるように歌っておられました。現在85歳と伺って多才多趣味、そしてご健康を維持されていることに改めて賛美の拍手をお送りします。2度のカーテンコールは会場の皆様も惜しみない拍手で出演者の方々にお届けしていました。

粕谷さん大変お疲れ様でした。そしてありがとうございました。　　阿部ひろみ

粕谷会長さんは

植物や鳥、生き物だけでなくギターやオカリナの演奏等様々なことに意欲をもって取り組んでいることは超人的です！！NHKでも放送されとてもいい記念になったのではと思います。　　関谷より

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。